

## 2022 年度大会における新型コロナウイルス感染症防止への対応について

令和4年10月4日（火）

### 1 選手・保護者自らが取り組むこと

- (1) 保護者は、試合当日自宅で①当日の検温、②軽度でも咳・喉の痛みなど風邪の症状はないか、③だるさ・息苦しさはないかなど健康状態を把握、監督・指導者に報告。
- (2) マスクの用意。
- (3) 多めの水分を用意。
- (4) 濡れタオルの供用を禁止とすることからタオルを用意。

### 2 チームが取り組むこと

- (1) 試合当日監督は、①選手の検温結果、②健康状態を把握し、試合に出場できるか判断する。確認の結果は連盟が用意する「健康チェックシート」へ記入、大会本部へのメンバー表提出時に合わせて提出する。
- (2) 消毒液・石鹸の用意。
- (3) 移動は徒歩が望ましいが、公共機関、クルマ移動の場合は3密への対応をして確認。移動時はマスクを着用。
- (4) 選手の大会参加は自由として、決して強制する事のなき様、保護者への説明をお願いします。

### 3 試合前に取り組むこと

- (1) 選手はグラウンド内においてマスク着用を任意とする。ウォーミングアップやミーティングでは大声を出さず、ソーシャルディスタンスの確保に努める。
- (2) 大会主催関係者、連盟・チーム以外のグラウンド出入を原則禁止、応援や観客人数の制限は設けないが、いずれもソーシャルディスタンスの確保に努めること。
- (3) 戸山運動広場野球場への入場時は検温を受けること。
- (4) 六義公園運動場への入出場について、A・B面共に公園側木戸の利用厳守とする。

### 4 試合中における感染予防策

- (1) 選手・審判員のマスク着用は任意とする。
- (2) ベンチの大人が選手に大声で指示を出す際は、絶対にマスクを外さない。
- (3) キャッチャーマスクの使い回しは可能な限り禁止とする。但し、複数個マスクを保有していない場合は、交代時にしっかりと除菌すること。
- (4) 飲み物は各自で持参し、ジャグを持ち込む場合の共用カップは禁止し、自カップまたは紙コップを使用する。
- (5) 濡れタオルの共有を禁止する。
- (6) 選手を集めたタイムの際やチーム応援には、ソーシャルディスタンスの確保に努める。
- (7) 投手の投球制限に伴う、投球数カウント係はマスクを着用する。
- (8) 試合中に審判員へのお茶出しはしない。

## 5 試合後における感染予防策

- (1) 試合後の手洗いとうがいを徹底。
- (2) 試合終了後は速やかにグラウンドを退出すること。
- (3) 試合終了後2週間内に、監督、コーチ、選手及びその同居家族が新型コロナウイルス感染症に感染したことが判明した場合は、少年野球連盟に対して速やかに連絡する。

### 第39回三区親善少年軟式野球大会

文京区少年軟式野球連盟

理事長 安藤 厚男

新宿区少年軟式野球連盟

理事長代行 飯島 隆夫

千代田区少年野球連盟

理事長 諸田 弘幸